

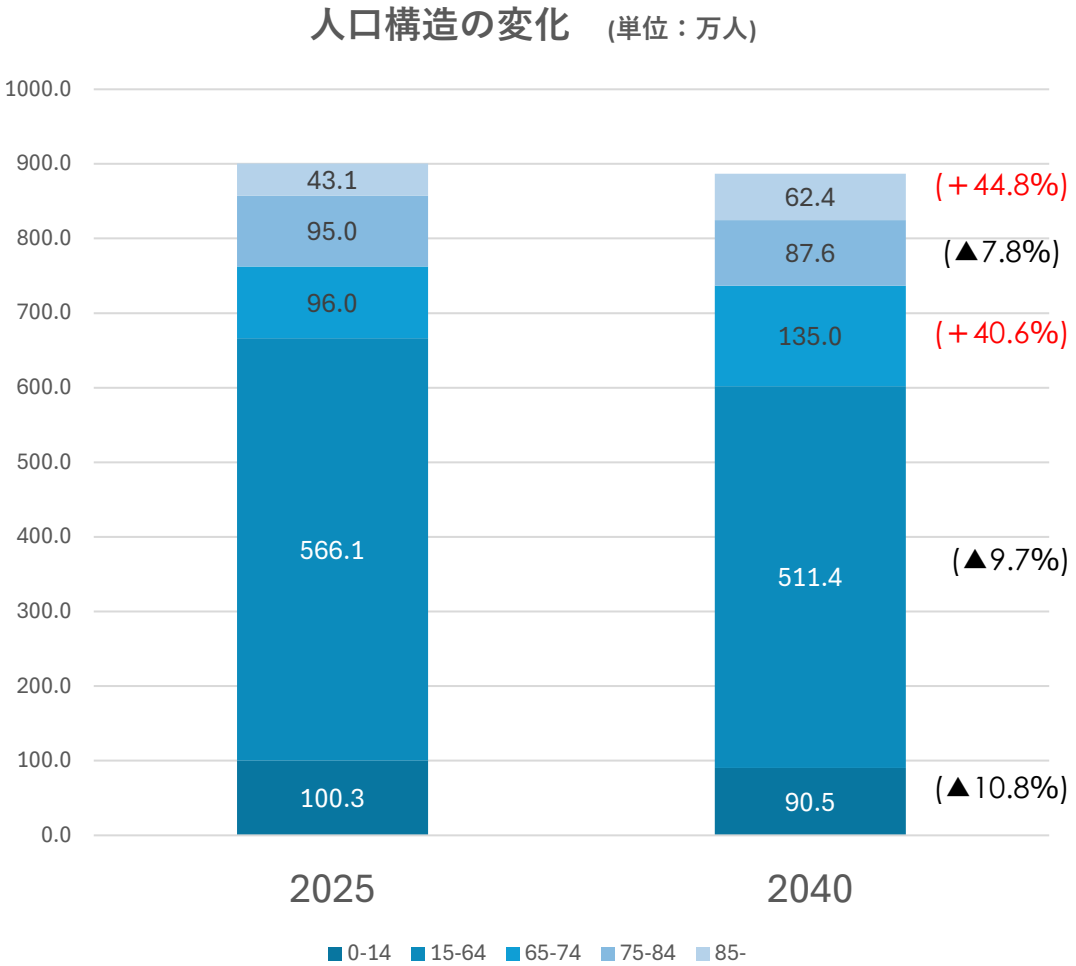


令和 7 年度第 3 回神奈川県保健医療計画推進会議 参考資料 1

本県の医療提供体制を取り巻く現状

2040年の人口構成

- 大幅に減少する生産年齢人口で高齢者(特に85歳以上)の医療需要を支える必要がある
- ・2040年には、85歳以上人口を中心とした高齢化と生産人口が減少
- ・85歳以上が占める割合は10年後の2035年がピークの市区町村が多い



【高齢者に占める85歳以上の割合】							
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
全国	17.1	19.3	22.0	26.0	25.6	24.3	24.8
神奈川県	15.7	19.3	22.7	25.5	23.7	22.1	23.7
横浜市	16.2	19.8	22.6	25.1	23.4	22.2	24.2
川崎市	16.1	19.3	21.3	23.3	21.4	20.1	22.0
相模原市	13.6	18.1	22.5	25.5	23.5	21.6	23.2
横須賀市	16.1	19.9	24.2	28.1	25.9	23.6	24.6
鎌倉市	20.0	22.9	25.8	27.4	24.1	21.9	24.2
逗子市	19.2	22.5	25.5	26.9	23.3	21.5	23.8
三浦市	18.5	21.9	26.0	32.2	33.4	30.9	31.5
葉山町	18.5	22.5	26.6	29.1	25.4	22.8	25.0
厚木市	12.2	16.3	21.4	26.2	24.6	22.2	22.8
大和市	13.8	18.3	22.6	25.0	22.4	20.6	22.4
海老名市	12.8	17.8	22.5	26.4	24.5	22.1	22.6
座間市	12.8	17.8	22.3	25.5	23.7	22.0	23.7
綾瀬市	11.9	18.1	25.3	29.2	25.8	22.1	22.1
愛川町	10.7	14.8	19.9	25.8	26.2	24.5	24.2
清川村	11.5	14.1	18.3	25.7	26.8	24.0	22.0
藤沢市	16.2	20.2	23.4	25.8	23.3	21.3	23.0
茅ヶ崎市	15.9	20.3	23.4	26.0	23.7	21.9	23.4
寒川町	12.5	15.8	21.7	26.7	25.7	22.7	23.1
平塚市	15.1	18.3	23.0	27.1	25.9	24.0	24.9
秦野市	13.0	16.4	21.5	27.3	26.9	24.6	24.9
伊勢原市	14.2	18.3	22.8	26.8	25.5	23.4	24.8
大磯町	15.0	18.8	23.9	28.4	26.5	24.2	24.4
二宮町	16.5	20.8	25.1	29.2	26.8	25.1	26.5
小田原市	16.5	19.2	22.3	26.2	25.4	24.2	25.5
南足柄市	14.7	19.4	23.7	27.6	26.5	24.4	25.5
中井町	14.7	17.7	24.6	32.6	33.0	30.1	28.6
大井町	14.5	18.1	22.9	27.2	25.6	22.6	24.0
松田町	15.7	20.0	23.5	27.7	27.9	26.4	28.1
山北町	17.0	18.8	21.5	28.9	32.2	33.3	32.6
開成町	17.0	21.5	25.4	27.7	25.2	22.8	23.2
箱根町	16.6	19.5	25.0	31.7	32.6	31.7	31.1
真鶴町	16.1	19.3	24.2	28.4	29.0	29.7	33.3
湯河原町	17.6	21.0	25.9	30.3	29.7	28.4	30.6

要支援・要介護認定者の状況

- 医療と介護の複合ニーズをもつ要介護者は75歳以上で上昇
 - ・新規介護認定者(要支援・要介護)(以下「新規認定者」)の割合は、75歳以上で高い
 - ・新規認定者の平均年齢は、上昇の傾向
 - ・新規認定における認定区分では、軽度認定(要介護2以下)で全体の79.8%を占める

【令和5年_第1号被保険者の新規認定者の年齢構成】

年齢区分	神奈川県		全国	
	新規認定者	構成比	新規認定者	構成比
65－74歳	16,396	16.8%	231,760	16.7%
75－84歳	47,057	48.3%	636,379	45.9%
85歳以上	34,063	34.9%	519,171	37.4%
合計	97,516	100.0%	1,387,310	34.9%

【新規認定者の平均年齢の推移】

	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
全国	80.9	81.4	81.4	81.5	81.7	81.7
本県	80.3	80.8	80.9	81.0	81.3	81.4

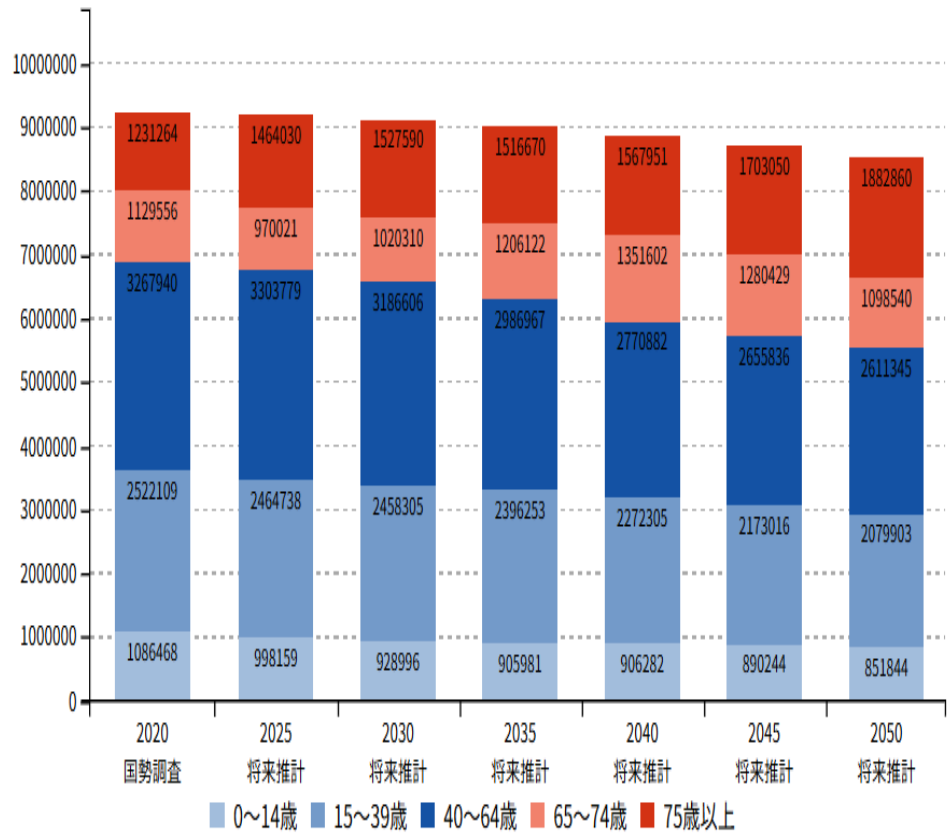
【令和5年_新規認定者における認定区分(割合)】

認定区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
全国	26.5	17.3	24.7	11.9	7.0	7.5	5.1
本県	24.6	18.8	23.8	12.3	6.7	7.8	6.0

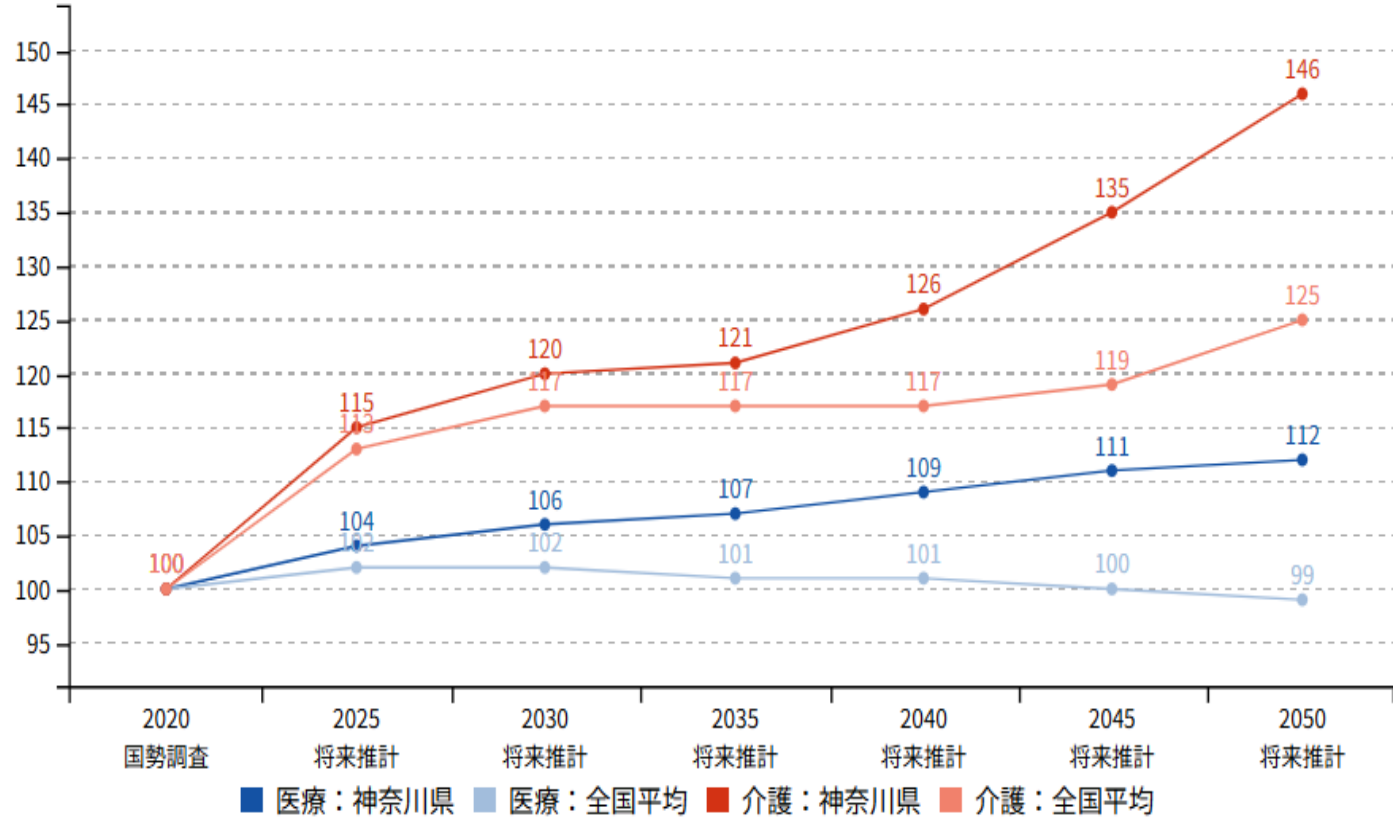
医療介護需要予測

- 医療と介護の複合ニーズをもつ(慢性期疾患治療を必要とする)後期高齢者人口の推移が医療・介護需要に影響
 - ・医療需要(指数)は、全国では横ばいに推移するが本県では緩やかに上昇
 - ・介護需要(指数)は、2035年以降全国平均と乖離し上昇が大きい

▶ 将来推計人口(人)



▶ 医療介護需要予測指数 (2020年実績=100)



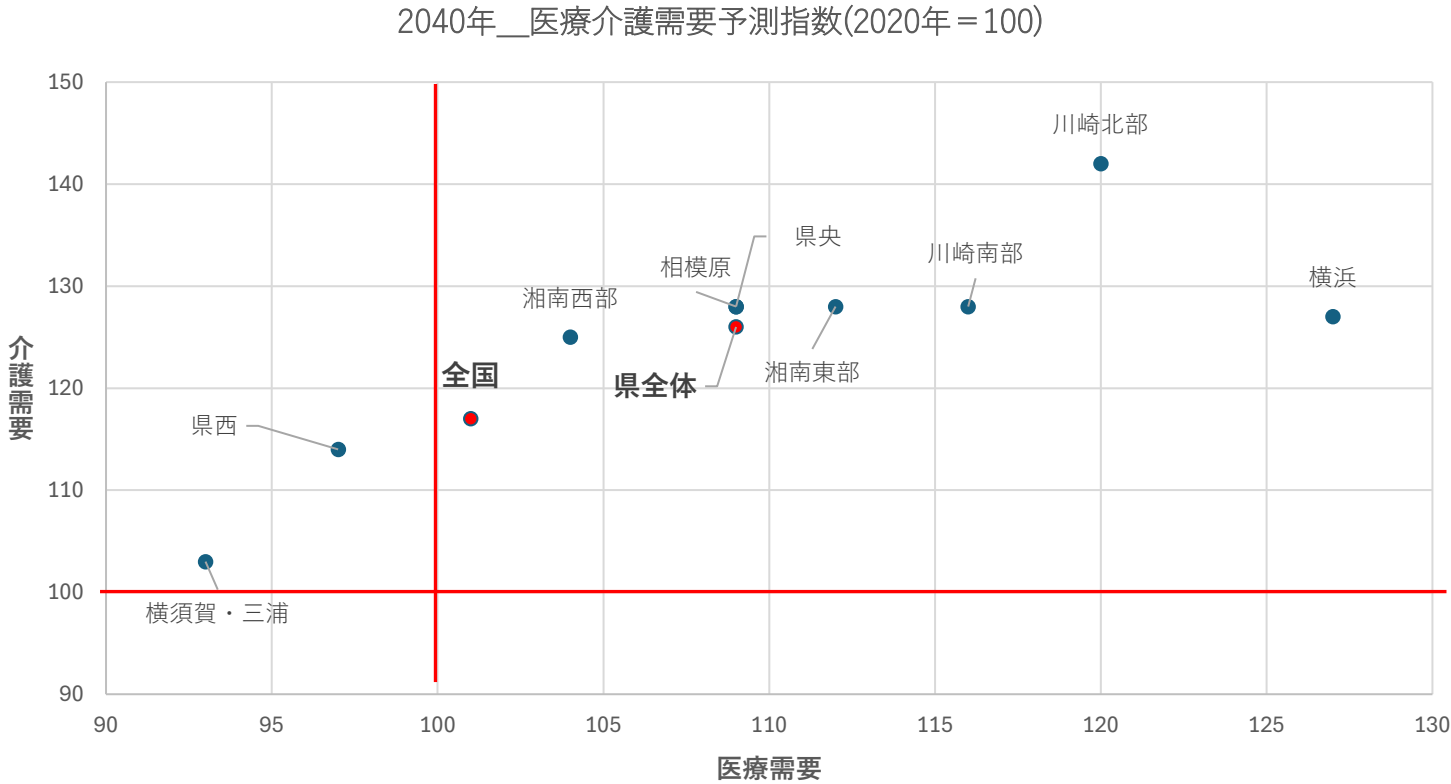
■ 医療介護需要予測: 各年の需要量を以下で計算し、2020年の国勢調査に基づく需要量=100として指数化

- ・各年の医療需要量 = $\sim 14\text{歳} \times 0.6 + 15\sim 39\text{歳} \times 0.4 + 40\sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65\sim 74\text{歳} \times 2.3 + 75\text{歳} \sim \times 3.9$
- ・各年の介護需要量 = $40\sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65\sim 74\text{歳} \times 9.7 + 75\text{歳} \sim \times 87.3$

医療介護需要予測__構想区域別

- 2040年では、県全体で医療・介護需要は上昇するが地域差も大きい
 - ・壮年期人口だけでなく、75歳以上の急激な人口減少により、2040年の医療需要が低迷する地域もある

区域	医療需要指数	介護需要指数
全国	101	117
県全体	109	126
横浜	127	127
川崎北部	120	142
川崎南部	116	128
相模原	109	128
横須賀・三浦	93	103
湘南東部	112	128
湘南西部	104	125
県央	109	128
県西	97	114



- 医療介護需要予測：各年の需要量を以下で計算し、2020年の国勢調査に基づく需要量 = 100として指数化
 - ・各年の医療需要量 = $\sim 14\text{歳} \times 0.6 + 15 \sim 39\text{歳} \times 0.4 + 40 \sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74\text{歳} \times 2.3 + 75\text{歳} \sim \times 3.9$
 - ・各年の介護需要量 = $40 \sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65 \sim 74\text{歳} \times 9.7 + 75\text{歳} \sim \times 87.3$

Kanagawa Prefectural Government

出典：日本医師会,地域医療情報システム(JMAP)

入院医療の状況__病床機能報告①入院患者の推移

※2025年は速報値(回答率92.1%(病院94.1%、有床診療所 8 8.3%))

- 新規入棟患者はコロナ渦以降全体数は横ばいであるが、慢性期の入棟患者は増加傾向。さらに救急医療入院で増加の傾向
- ・慢性期病床の新規入棟患者は増加傾向
 - ・入院時の状況としては、予定入院・院内転棟は減少傾向であるが、予定外入院が増加傾向。
 - ・回復期では、予定外かつ救急医療入院の増加が著明、慢性期では、予定外の救急医療入院が増加傾向

【新規入棟患者の状況】

機能区分	新規入棟患者数(/年間)			1日当たり入棟患者数(/日)		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計)	1,097,659	1,157,397	1,127,057	3,007	3,171	3,088
高度急性期	353,801	365,451	349,208	969	1,001	957
急性期	668,087	705,327	690,013	1,830	1,932	1,890
回復期	53,445	62,471	61,222	146	171	168
慢性期	20,965	22,629	23,493	57	62	64
休棟予定	1,361	1,519	1,928	4	4	5
廃止予定	0	0	1,193	0	0	3

【新規入棟患者の入院時の受入状況】

機能区分	新規入棟患者(/年間)__内訳								
	1) 予定入院・院内転棟			2) 予定外かつ救急医療入院以外			3) 予定外の救急医療入院		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計)	658,449	742,156	715,777	104,809	113,022	119,169	245,703	301,913	292,111
高度急性期	208,417	227,623	218,826	18,847	23,594	22,392	97,231	114,234	107,990
急性期	392,023	442,375	423,885	79,100	81,542	88,272	144,039	181,104	177,856
回復期	41,724	51,857	50,100	4,716	5,319	6,547	3,411	5,295	4,575
慢性期	15,965	19,544	21,058	1,692	2,149	1,268	435	936	1,167
休棟予定	320	669	1,344	454	418	508	587	344	76
廃止予定	0	88	564	0	0	182	0	0	447

入院医療の状況__病床機能報告②入院経路

- 新規入院患者は、介護・福祉施設からの入院が増加傾向。特に急性期病床で急増傾向
 - ・家庭からの入院が多くを占めている
 - ・介護・福祉施設からの急性期病床への入院が急増

【入院経路の状況】

年度	院内転棟	家庭	転院	介護・福祉施設	介護医療院	院内出生	その他
令和5年度	206, 239	683, 969	52, 510	39, 609	639	12, 312	13, 683
令和6年度	222, 066	808, 185	63, 195	45, 054	225	14, 747	3, 619
令和7年度	198, 152	795, 918	63, 924	47, 202	354	13, 264	8, 243

【入院経路(機能区分別)の状況】

年度	機能区分	院内転棟	家庭	転院	介護・福祉施設	介護医療院	院内出生	その他
令和5年度	高度急性期	91, 019	212, 599	5, 558	7, 244	0	5, 111	2, 964
	急性期	93, 667	454, 228	19, 844	29, 013	577	7, 201	10, 632
	回復期	15, 959	12, 068	19, 614	2, 153	0	0	57
	慢性期	5, 495	4, 295	7, 325	893	62	0	22
	休棟予定	99	779	169	306	0	0	8
	廃止予定	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	高度急性期	97, 989	245, 504	7, 277	8, 706	9	5, 476	490
	急性期	97, 104	540, 133	23, 274	32, 200	95	9, 271	2, 944
	回復期	19, 873	16, 820	22, 850	2, 824	8	0	96
	慢性期	6, 741	4, 902	9, 522	1, 263	113	0	88
	休棟予定	272	825	272	61	0	0	1
	廃止予定	87	1	0	0	0	0	0
令和7年度	高度急性期	87, 001	240, 378	7, 479	8, 507	5	4, 934	904
	急性期	85, 626	532, 371	22, 597	35, 038	214	8, 314	5, 853
	回復期	16, 788	15, 963	24, 265	2, 727	13	0	1, 466
	慢性期	7, 759	5, 280	9, 543	756	122	16	17
	休棟予定	912	976	26	11	0	0	3
	廃止予定	66	950	14	163	0	0	0

入院医療の状況__病床機能報告③退院経路

- 退院患者は、転院、介護老人福祉施設、有床老人ホーム等へ入所が増加傾向。特に急性期病床で急増傾向
- ・家庭退院が多くを占めている。
 - ・急性期病床では家庭退院は減少。一方で介護老人施設や有料老人ホーム等への入所が増加(入院経路)

【退院経路の状況】

	院内転棟	家庭退院	転院	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院	有料老人ホーム等	死亡退院等 1	その他
令和5年度	217,505	656,559	48,414	12,204	12,214	366	22,458	40,278	5,088
令和6年度	243,774	752,059	54,896	13,675	13,161	351	27,340	49,069	4,007
令和7年度	214,846	734,448	56,217	13,341	14,584	462	29,196	46,702	8,390

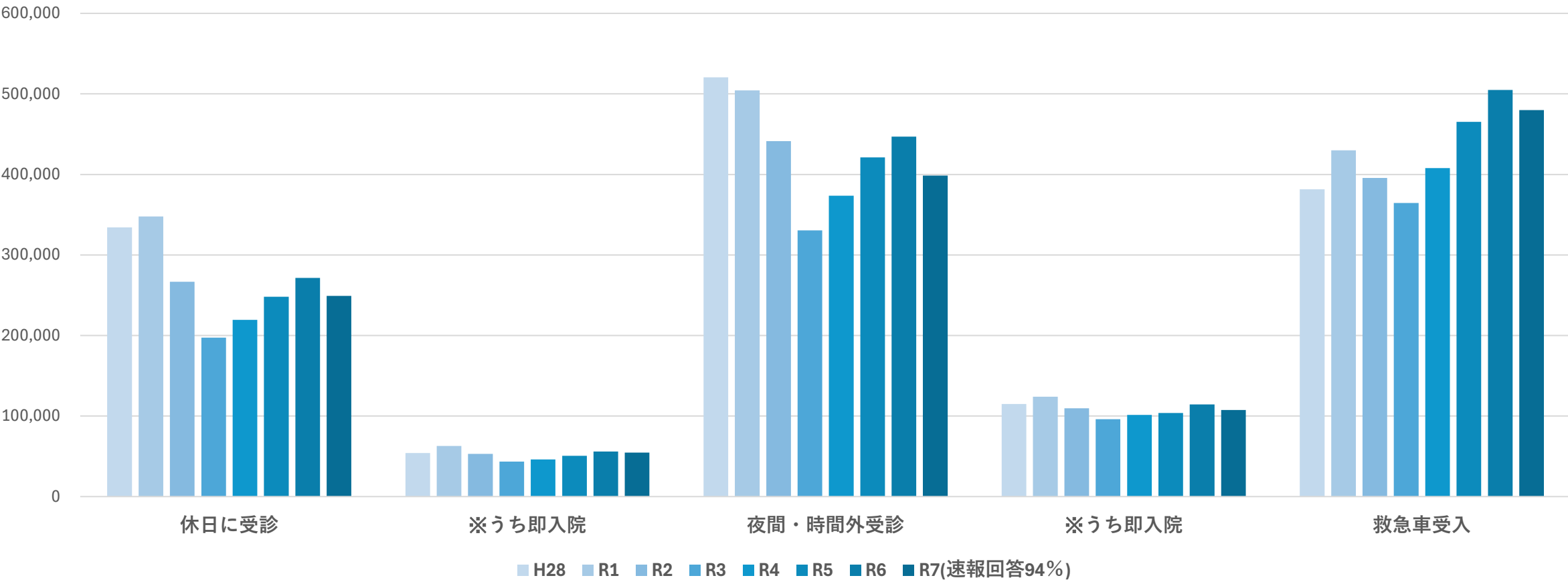
【退院経路(機能区分別)の状況】

		院内転棟	家庭退院	転院	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院	有料老人ホーム等	死亡退院等	その他
令和5年度	高度急性期	114,567	176,575	14,605	903	992	4	3,212	9,839	724
	急性期	95,864	445,795	28,633	7,656	8,825	155	14,499	18,677	4,245
	回復期	4,561	30,078	3,698	3,007	1,790	77	3,944	2,474	106
	慢性期	2,147	3,618	1,348	543	546	130	685	9,128	13
	休棟予定	366	493	130	95	61	0	118	160	0
	廃止予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	高度急性期	141,903	194,083	15,454	1,008	1,072	4	3,627	12,646	412
	急性期	94,430	514,823	33,781	8,521	9,179	91	17,577	21,038	3,385
	回復期	4,584	37,886	4,283	3,547	2,290	97	5,211	3,165	174
	慢性期	2,525	4,292	1,325	538	600	159	887	12,164	35
	休棟予定	244	975	53	61	20	0	38	56	1
	廃止予定	88	0	0	0	0	0	0	0	0
令和7年度	高度急性期	115,218	194,950	16,386	993	1,130	3	4,045	12,113	511
	急性期	90,874	496,714	33,761	8,402	10,621	185	18,912	19,443	7,150
	回復期	4,030	37,038	4,323	3,374	2,303	92	5,432	3,066	637
	慢性期	3,706	4,290	1,409	531	518	182	729	11,975	90
	休棟予定	70	1,303	291	40	11	0	70	37	2
	廃止予定	948	153	47	1	1	0	8	68	0

入院医療の状況__病床機能報告④救急医療の受入推移

- 救急医療の推移（時間外・休日/夜間・救急搬送の受入グラフ）
 - ・コロナ感染拡大当初で減少後、全体的に増加の傾向(R7は参考値・回答率94%)
 - ・休日受診、夜間・時間外受診の患者の当日即入院の件数は横ばい

救急医療の状況（人数）



入院医療の状況__病床機能報告⑤救急医療の状況（R6病床機能報告）

- 休日、夜間/時間外受診は、各地域で救急受入件数より多い。一方で、当日入院(直入院)となる患者は地域によってその割合に差がある。
- 湘南西部では、夜間・時間外受診において、当日そのまま入院(直入院)の割合が他地域より高い傾向

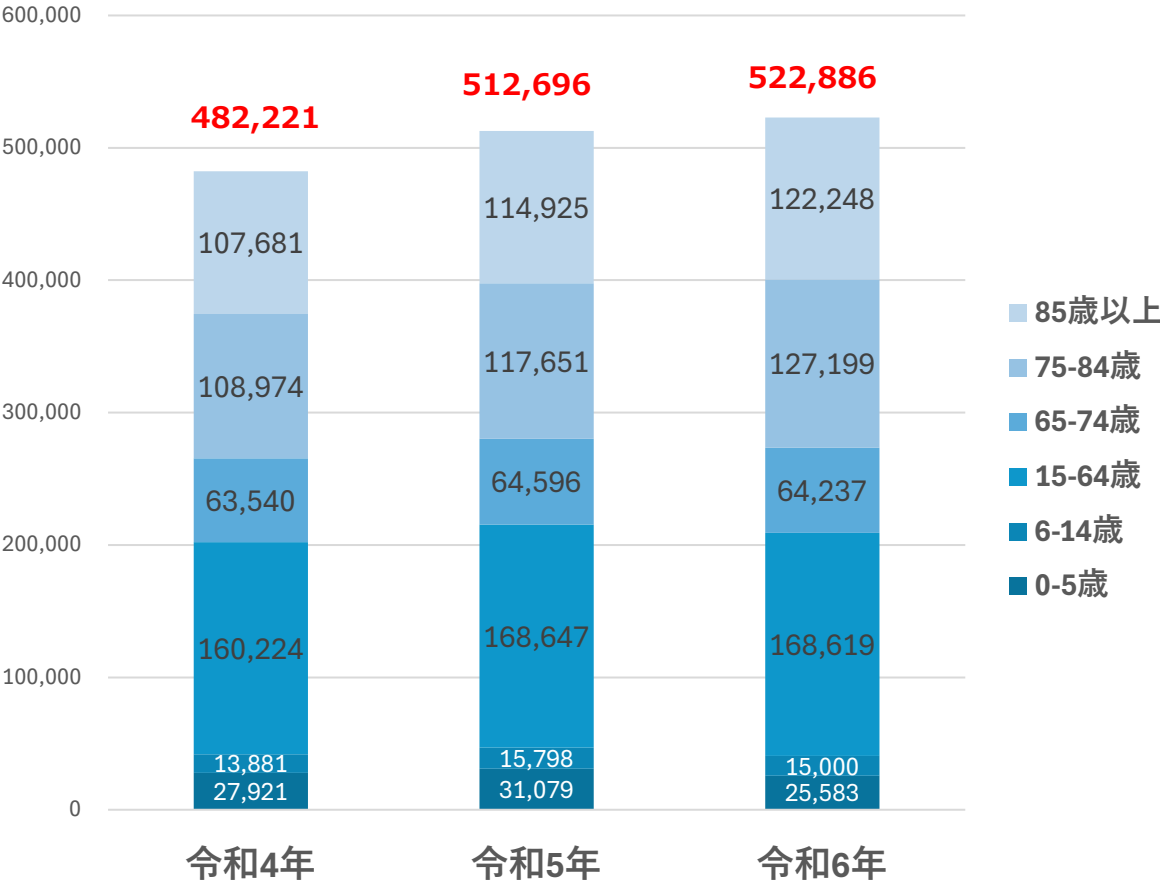
【休日受診、夜間/時間外受診、救急搬送受入の状況】

R 6 構想区域	休日に受診			夜間・時間外受診			救急車受入
	患者数	(内)直入院	(割合)	患者数	(内)直入院	(割合)	患者数
横浜	107,881	24,129	22.4%	172,657	48,241	27.9%	199,799
川崎北部	17,116	3,821	22.3%	31,721	8,159	25.7%	34,542
川崎南部	26,111	4,523	17.3%	34,611	8,426	24.3%	42,283
相模原	13,809	3,546	25.7%	26,059	8,097	31.1%	34,243
横須賀・三浦	29,414	5,093	17.3%	52,225	10,624	20.3%	53,714
湘南東部	30,454	3,874	12.7%	48,296	8,512	17.6%	41,332
湘南西部	14,208	3,733	26.3%	28,383	8,450	29.8%	36,012
県央	21,819	5,138	23.5%	35,673	9,569	26.8%	46,140
県西	10,763	2,142	19.9%	17,189	4,260	24.8%	16,881
総計	271,575	55,999	20.6%	446,814	114,338	25.6%	504,946

救急搬送の状況__救急搬送データ①年齢区分別搬送者数(全県)

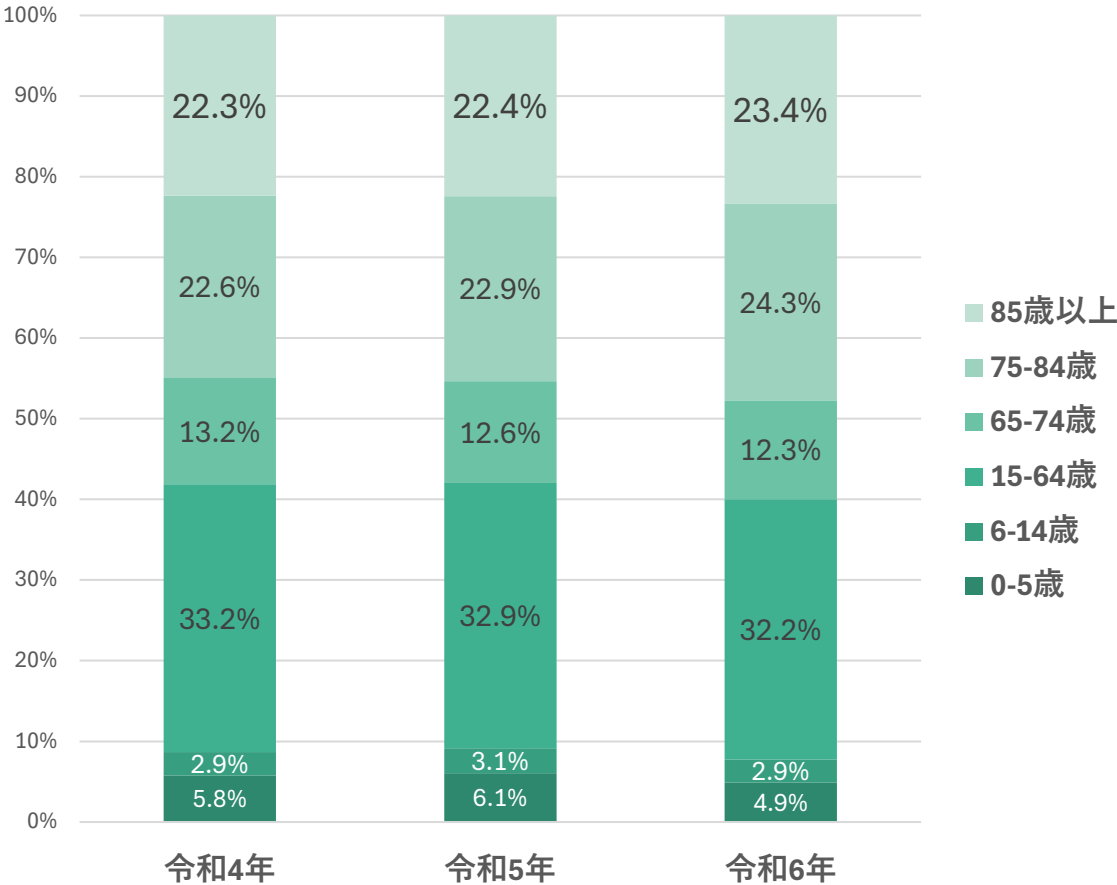
・ 救急搬送数は増加傾向。特に75歳以上の後期高齢者の搬送が約5割を占めている

救急搬送数__年齢区分別(年間)



Kanagawa Prefectural Government

救急搬送割合__年齢区分別(年間)



救急搬送の状況__救急搬送データ②出動後の状況

○救急出動件数及び救急搬送件数は増加傾向であるが、搬送困難事案や不搬送数は減少

- ・搬送困難事案(受入照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上)は減少
- ・また、現場対応での負担となる不搬送も減少

構想区域	年	救急出動件数	救急搬送数	内) 搬送困難事案件数		不搬送件数
横浜	R4	249,717	197,044	12,359	(6.3%)	52,673
	R5	260,942	210,510	9,258	(4.4%)	50,432
	R6	262,884	213,208	9,138	(4.3%)	49,676
川崎	R4	86,482	68,668	4,113	(6.0%)	17,814
	R5	89,556	72,869	3,528	(4.8%)	16,687
	R6	91,023	74,182	3,409	(4.6%)	16,841
相模原	R4	43,134	35,744	2,223	(6.2%)	7,390
	R5	44,929	36,932	1,788	(4.8%)	7,997
	R6	45,583	38,348	2,099	(5.5%)	7,235
横須賀・三浦	R4	46,499	41,854	422	(1.0%)	4,645
	R5	49,863	45,149	332	(0.7%)	4,714
	R6	50,610	46,310	308	(0.7%)	4,300
湘南東部	R4	44,467	40,801	273	(0.7%)	3,666
	R5	47,093	43,522	169	(0.4%)	3,571
	R6	47,154	43,445	224	(0.5%)	3,709
湘南西部	R4	36,468	33,036	411	(1.2%)	3,432
	R5	38,486	34,587	314	(0.9%)	3,899
	R6	39,479	35,624	304	(0.9%)	3,855
県央	R4	51,397	45,228	1,538	(3.4%)	6,169
	R5	54,153	48,130	1,077	(2.2%)	6,023
	R6	56,219	50,221	970	(1.9%)	5,998
県西	R4	23,855	19,846	1,271	(6.4%)	4,009
	R5	25,559	20,997	1,349	(6.4%)	4,562
	R6	25,857	21,548	1,492	(6.9%)	4,309

救急搬送の状況__救急搬送データ③管内外搬送の状況(R6)

- 搬送先の2割以上、管轄消防本部外(管外)に搬送している地域もあり。広域的に対応調整が必要
 - ・搬送の大半は管内。一部の地域において2割以上を管外に搬送している地域がある
 - ・初診医判定では、軽症や中等度が多い。一部、重症以上患者の3割を管外搬送している地域もあり

【搬送先(管内外)の状況】

構想区域	管内	管外	(管外割合)
横浜	196,734	16,474	7.7%
川崎	68,052	6,130	8.3%
相模原	35,123	3,225	8.4%
横須賀・三浦	38,027	8,283	17.9%
湘南東部	33,005	10,440	24.0%
湘南西部	26,249	9,375	26.3%
県央	34,519	15,702	31.3%
県西	15,795	5,753	26.7%

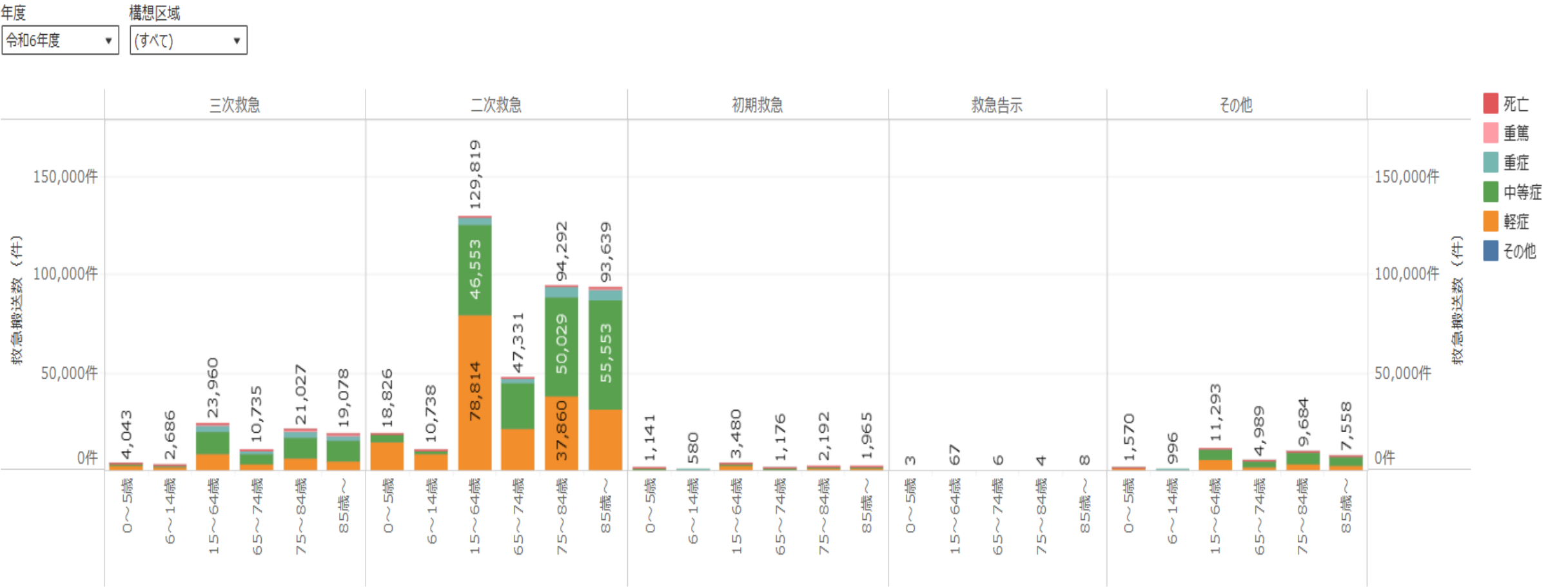
【初診医判断(傷病程度)の状況】

	横浜		川崎		相模原		横須賀・三浦		湘南東部		湘南西部		県央		県西	
	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外
重症度																
死亡	950	10	302	7	256	30	382	65	506	97	403	174	365	181	272	108
重篤	4,649	180	0	0	0	0	0	0	51	29	158	42	46	12	0	2
重症	11,214	1,100	3,906	254	2,505	382	2,446	711	1,275	995	1,259	740	1,477	1,381	1,033	492
中等症	88,484	9,220	27,630	3,200	13,895	1,611	18,795	5,511	18,084	6,814	12,383	5,133	15,481	8,443	7,682	2,712
軽症	91,433	5,964	36,211	2,669	18,467	1,202	16,350	1,996	13,089	2,505	12,045	3,282	17,149	5,684	6,808	2,439
その他	4	0	3	0	0	0	54	0	0	0	1	4	1	1	0	0
死亡	99.0%	1.0%	96.8%	2.3%	97.3%	10.5%	92.7%	14.5%	88.6%	16.1%	80.6%	30.2%	67.7%	33.2%	60.0%	28.4%
重篤	96.3%	3.7%	0.0%						100.0%	36.3%	84.5%	21.0%	52.3%	20.7%	0.0%	100.0%
重症	91.1%	8.9%	78.0%	6.1%	90.8%	13.2%	86.5%	22.5%	64.2%	43.8%	55.9%	37.0%	66.6%	48.3%	42.8%	32.3%
中等症	90.6%	9.4%	75.0%	10.4%	81.3%	10.4%	92.1%	22.7%	76.6%	27.4%	64.5%	29.3%	75.1%	35.3%	47.6%	26.1%
軽症	93.9%	6.1%	85.9%	6.9%	87.4%	6.1%	93.2%	10.9%	86.8%	16.1%	82.8%	21.4%	83.9%	24.9%	54.5%	26.4%
その他	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%			100.0%	0.0%			100.0%	80.0%	20.0%	50.0%	0.0%	

救急搬送の状況__救急搬送データ④救急医療体制別の状況(R6)

- ・ どの年齢区分においても搬送先の多くは、二次救急医療施設が受入
※なお、一部、三次救急医療施設の受入件数のほうが多い地域あり

救急搬送数_救急医療体制別（実施形態別）



救急搬送の状況__救急搬送データ⑤年齢区分別発生場所の状況(R6)

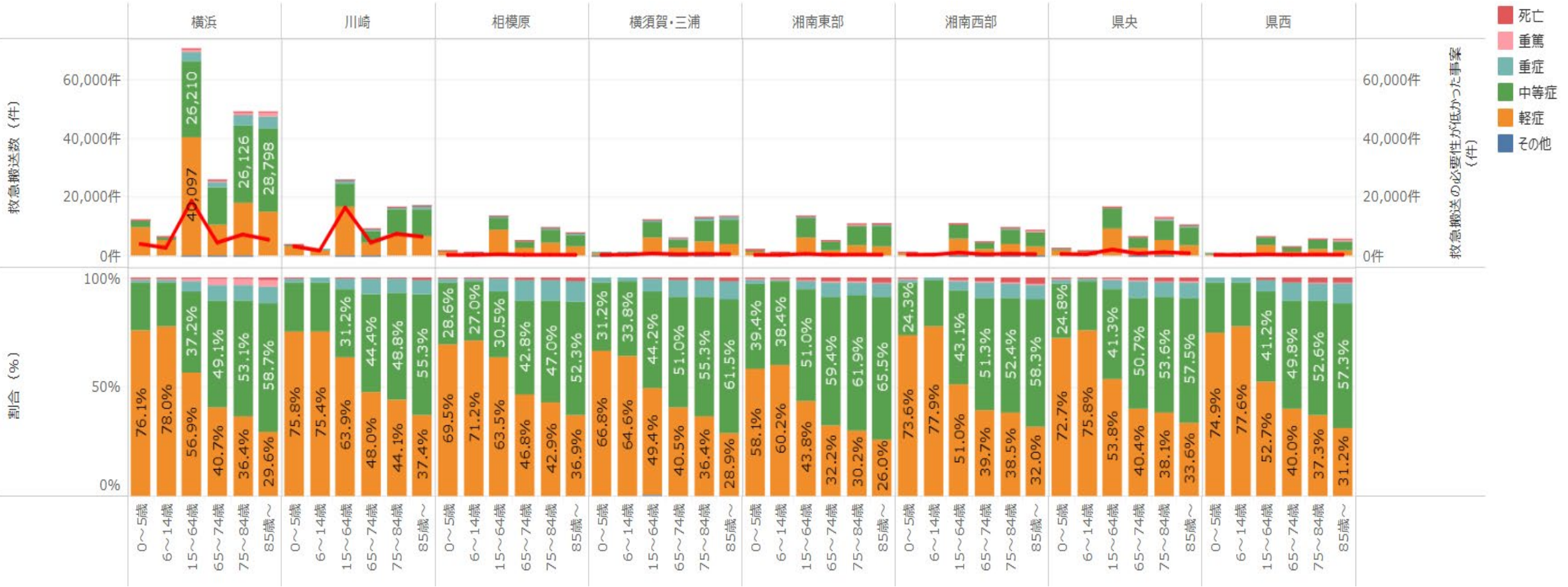
・ 85歳以上では老人福祉等施設からが多く、その多くは初診医判断(傷病程度)で中等症以上が多い

発生場所別の搬送状況



救急搬送の状況__救急搬送データ⑥年齢区分別傷病程度別の状況(R6)

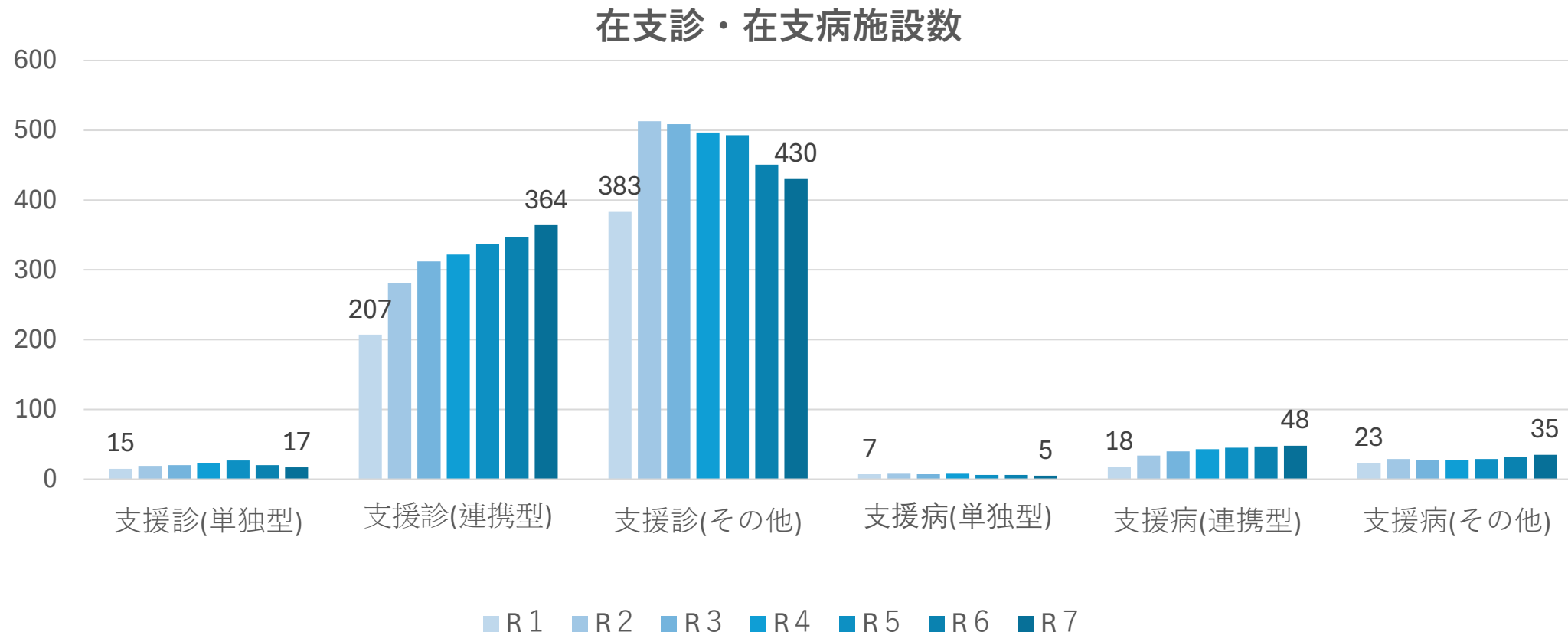
- ・地域別でも各地域で75歳以上の搬送が多く、中等症以上の割合が高い
- ・一方で、若年者では軽症の割合が高い



在宅医療の状況__在支診・在支病定例報告①施設数

○在宅医療を支える体制は微増

- ・訪問診療を実施（実績有）する施設は、在支診・在支病はともに微増
- ・施設区分では、連携型が多い

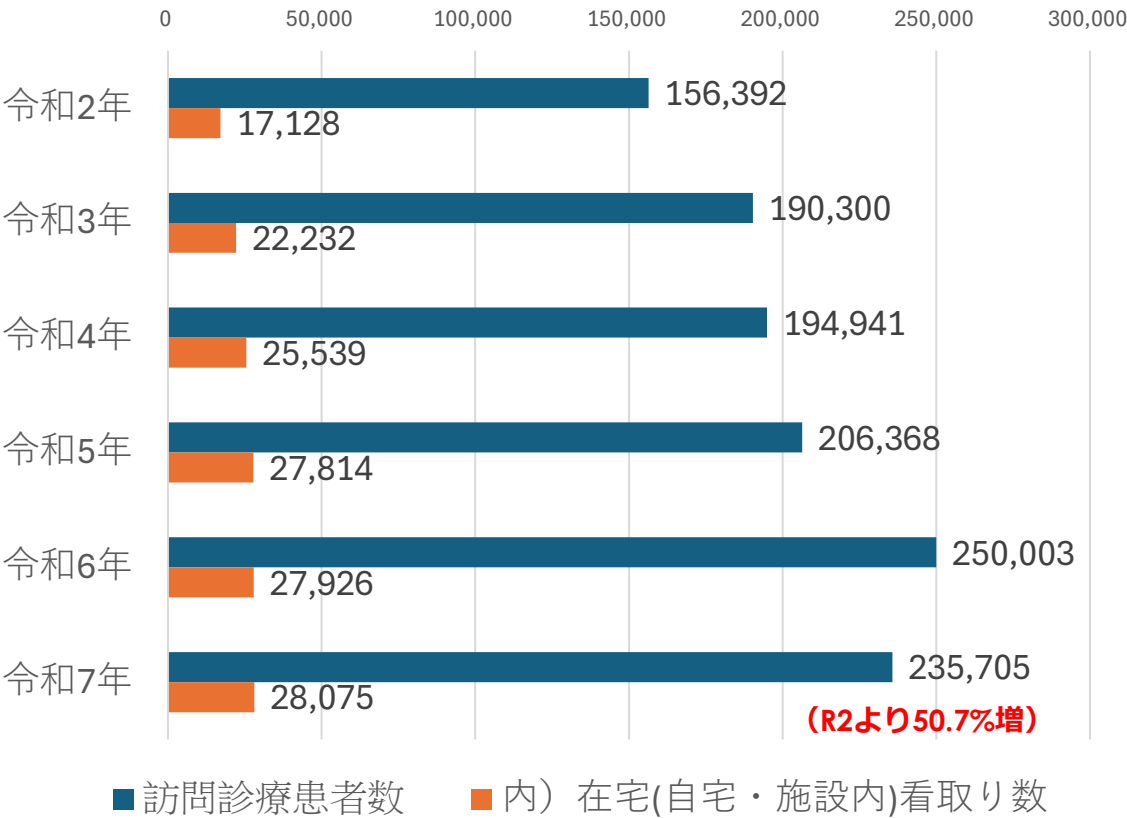


※施設基準の届出があった医療機関のうち、定例報告の「合計診療患者数」が0及び定例報告の未報告の医療機関を除く

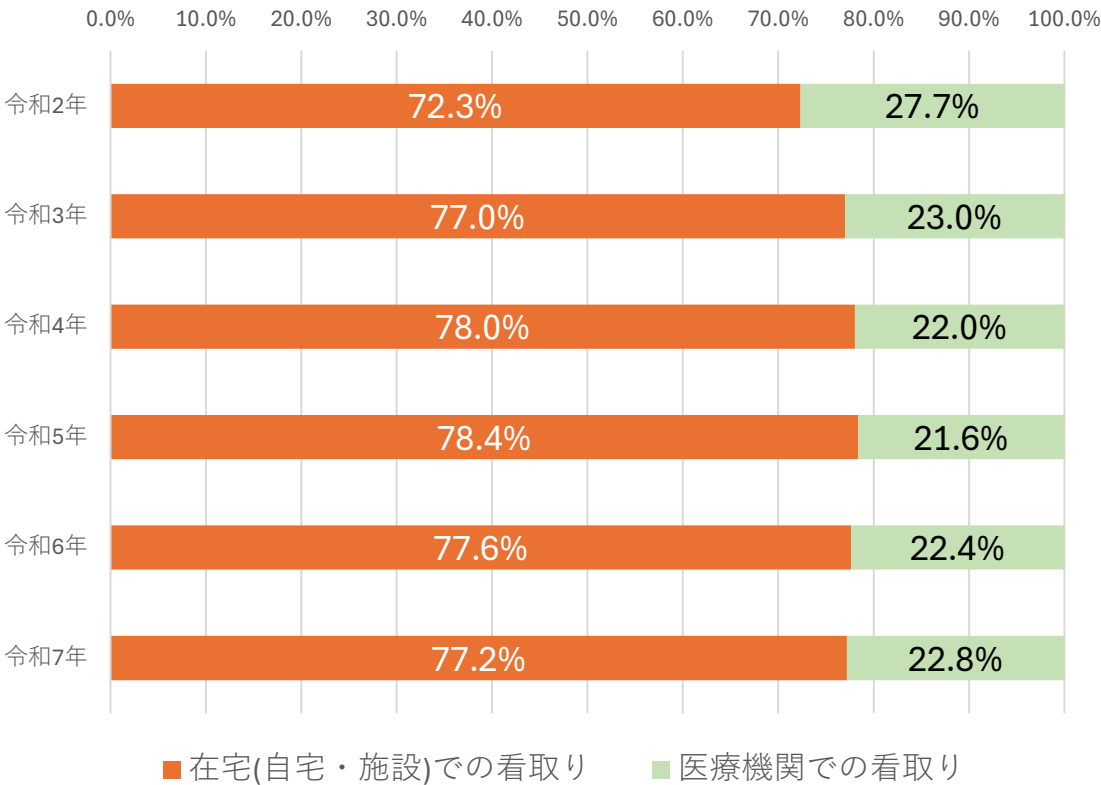
在宅医療の状況_在支診・在支病定例報告②訪問診療患者数・看取り数

- 訪問診療の需要は増加の傾向
 - ・訪問診療を利用する患者数は増加の傾向。在宅(自宅・施設)での看取り数は微増
 - ・訪問診療を利用していた死亡患者に占める在宅看取り割合も増加の傾向

訪問診療利用患者数等(人数/年)



訪問診療患者の看取りの状況

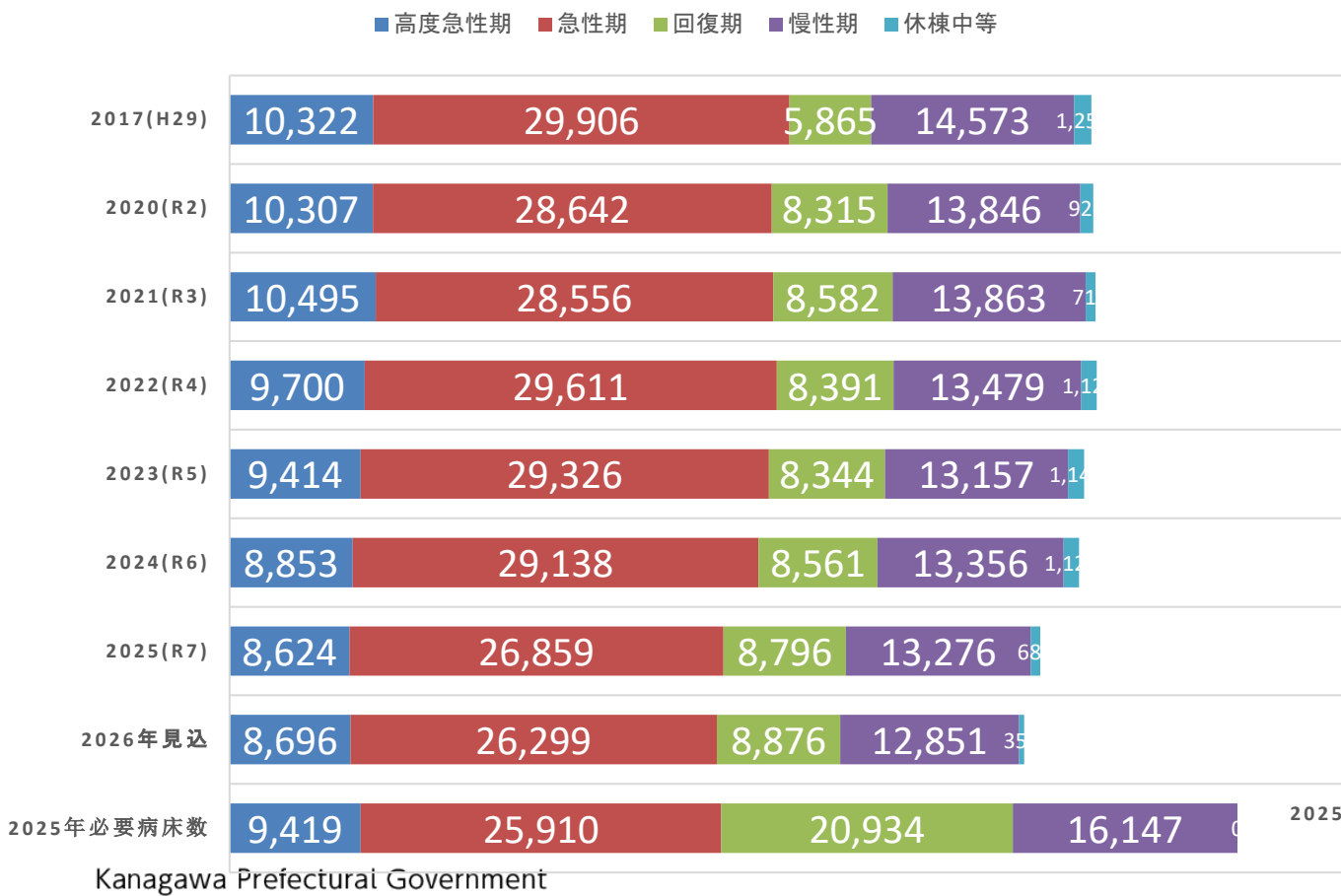


医療提供の状況__病床機能報告①病床機能・分化の状況

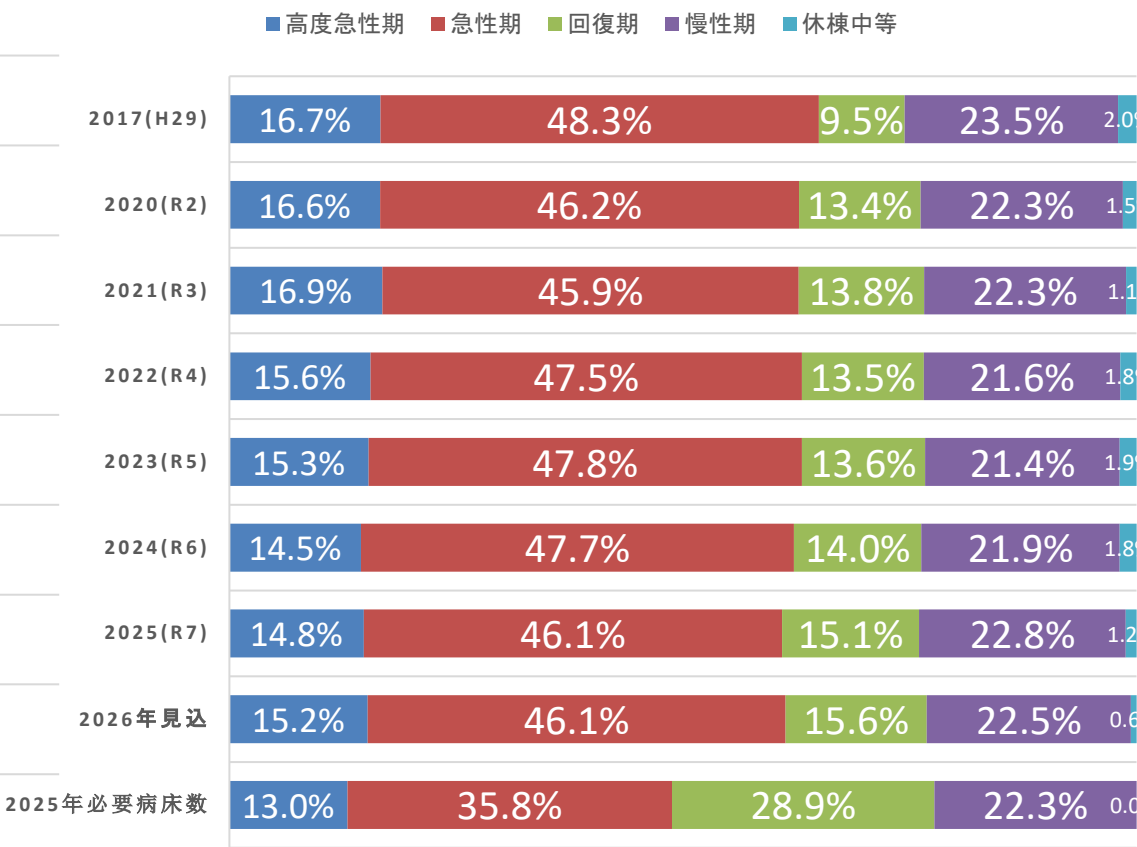
※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

・回復期病床、構成比ともに増加

病床機能別の病床数(実数)



病床機能別病床構成比(%)

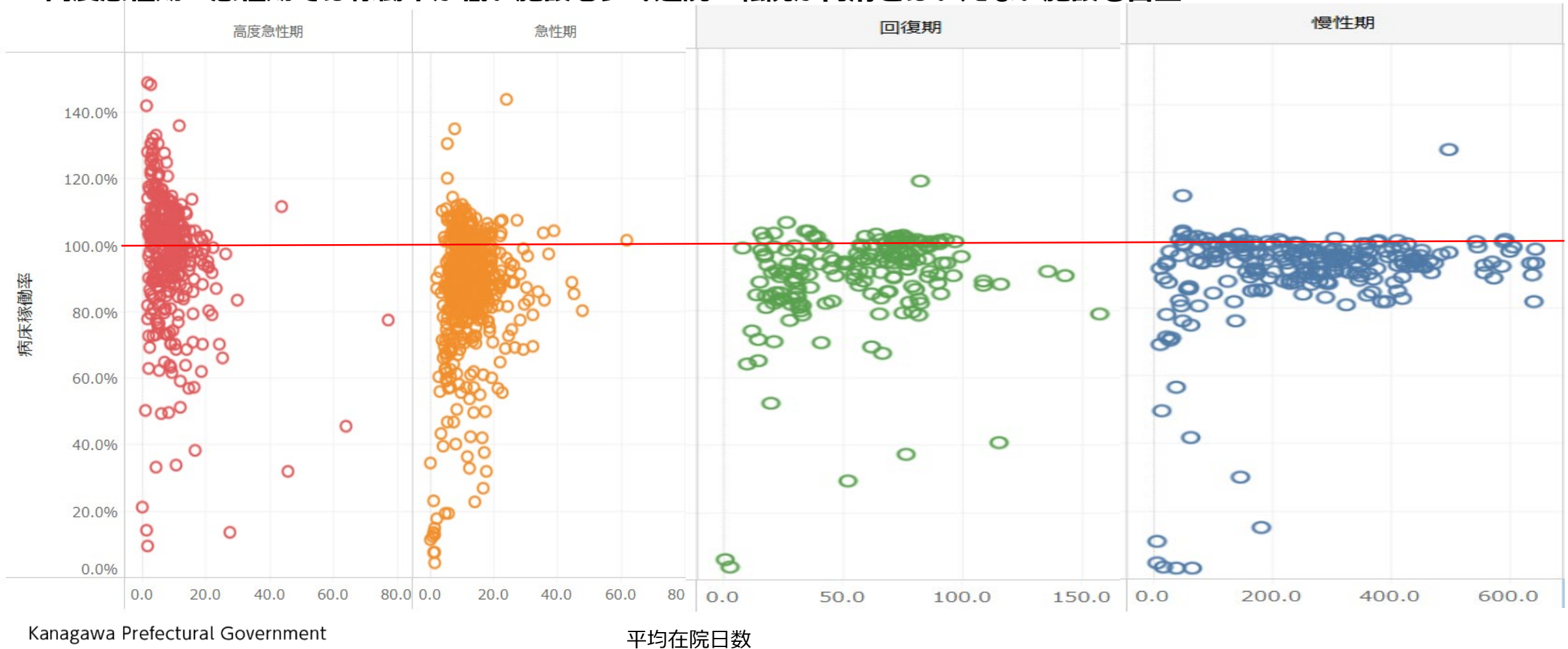


医療提供の状況__病床機能報告②病床運用の状況(R6報告)

○医療機能区分別の病床稼働率は、各施設・病棟で差がある

- ・平均在院日数は、診療報酬施設基準を満たす施設が多い。一方で回復期、慢性期では長期入院が多い施設も目立つ
- ・病床稼働率は80%以上が多いが、施設差が大きい。
- ・高度急性期・急性期では稼働率が低い施設も多く退院・転院が円滑とはいえない施設も目立つ

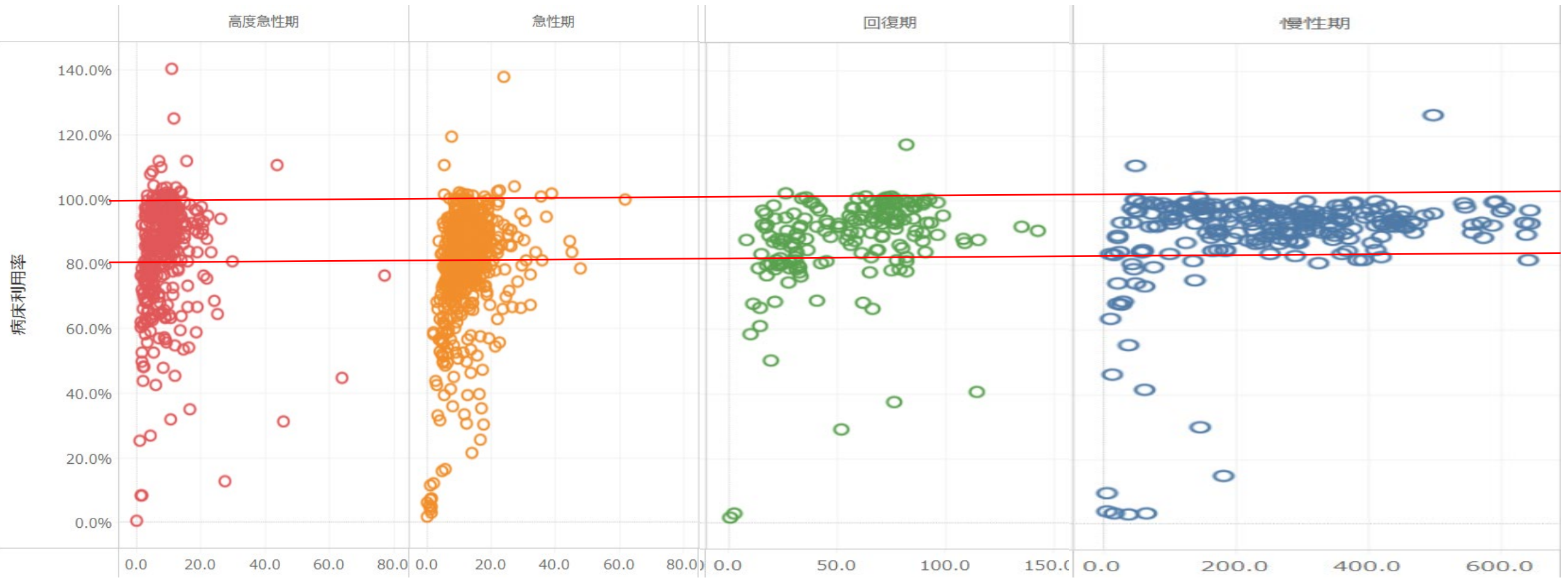
※○印：各医療機関の病棟毎の状況



医療提供の状況__病床機能報告③病床運用の状況(R6報告)

- 医療機能区分別の病床利用の状況は、80%以上が多いが施設差も大きい
 - ・平均在院日数は、診療報酬施設基準を満たす施設が多い。一方で慢性期では長期入院患者が多い施設も目立つ
 - ・病床利用率は、80%以上が多いが、80%未満(空床20%以上)の回復期・慢性期病床もあり

※○印：各医療機関の病棟毎の状況



(参考) 病床機能報告__令和7年度報告速報値(区域別)

※2025年は速報値(回答率92.1%(病院94.1%、有床診療所 88.3%))

医療提供の状況_①平均在院日数(高度急性期・急性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

・平均在院日数は、高度急性期・急性期においては診療報酬改定や医療の高度化等により短縮

○平均在院日数							
平均在院日数/高度急性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	9.0	8.3	8.0	7.4	7.3	7.7	
横浜	9.0	8.0	7.8	7.5	7.4	7.7	
川崎北部	11.5	11.4	9.9	7.4	4.2	3.5	
川崎南部	5.1	4.1	4.0	3.2	5.5	7.4	
相模原	9.8	9.4	9.2	8.9	8.9	9.1	
横須賀・三浦	8.9	8.4	8.2	7.3	7.3	7.6	
湘南東部	7.4	7.5	7.0	7.1	7.2	7.5	
湘南西部	8.9	8.0	9.0	8.4	7.6	8.1	
県央	5.2	4.2	3.4	5.1	4.9	7.0	
県西	9.0	8.6	7.0	8.4	8.2	8.1	
平均在院日数/急性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	11.2	10.8	10.8	10.2	10.6	10.7	
横浜	11.0	10.7	10.7	9.5	10.2	10.7	
川崎北部	11.9	11.3	11.8	10.2	9.9	11.2	
川崎南部	11.2	11.0	10.1	10.2	10.9	10.5	
相模原	11.1	10.1	10.4	10.2	10.7	9.8	
横須賀・三浦	11.3	11.7	11.3	10.4	11.2	9.9	
湘南東部	11.1	11.1	11.2	10.9	11.2	10.7	
湘南西部	12.2	10.3	11.9	13.2	11.7	11.6	
県央	11.6	10.8	11.3	10.7	10.9	10.2	
県西	10.2	11.2	10.9	14.4	14.1	13.6	

医療提供の状況_②平均在院日数(回復期・慢性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

- 平均在院日数は、回復期・慢性期においては全県では短縮傾向であるが地域差が大きい
- 日数延長する患者像の変化や退院調整、病病連携、介護連携状況など合わせて実態把握する必要あり

平均在院日数/回復期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	43.1	43.4	39.5	40.9	41.0	41.3	
横浜	42.8	44.0	41.3	40.1	41.5	39.4	
川崎北部	73.3	56.4	43.2	40.9	42.2	40.8	
川崎南部	49.1	52.5	39.1	22.0	22.1	29.5	
相模原	40.1	28.7	32.4	28.7	34.1	37.6	
横須賀・三浦	32.3	45.7	27.0	34.4	33.1	38.0	
湘南東部	37.8	48.4	48.8	43.7	51.1	39.7	
湘南西部	59.2	49.4	38.4	50.3	44.0	62.6	
県央	42.3	36.2	47.2	67.8	56.5	53.4	
県西	33.6	32.3	38.0	60.2	30.0	33.6	

平均在院日数/慢性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	186.8	166.3	180.5	178.7	151.4	150.8	
横浜	125.9	117.3	136.0	150.0	123.6	128.0	
川崎北部	365.0	376.5	384.8	178.7	172.7	105.2	
川崎南部	162.6	107.8	150.8	128.5	108.5	109.7	
相模原	352.5	249.9	219.5	244.5	239.9	286.8	
横須賀・三浦	148.3	126.3	167.4	130.3	133.2	139.5	
湘南東部	182.7	159.4	175.6	216.6	140.9	126.7	
湘南西部	343.4	318.5	230.5	251.0	209.4	207.1	
県央	128.8	149.5	185.1	196.2	150.3	134.7	
県西	252.8	278.0	292.4	202.8	179.6	232.3	

医療提供の状況_③病床稼働率(高度急性期・急性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

・病床稼働率は、高度急性期・急性期ともに上昇の傾向

病床稼働率/高度急性期	平成27年度	平成28年	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	94.4	94.8	99.6	92.9	98.3	99.1	
横浜	91.9	94.7	99.4	92.2	98.8	96.2	
川崎北部	93.4	91.0	94.7	37.6	94.7	108.5	
川崎南部	86.3	92.5	87.5	96.1	91.9	87.6	
相模原	86.3	95.4	99.1	90.0	89.4	94.9	
横須賀・三浦	105.7	103.4	103.0	96.9	104.0	108.7	
湘南東部	90.9	91.7	93.7	90.9	90.3	95.3	
湘南西部	102.6	89.8	109.5	100.1	105.2	105.0	
県央	72.0	87.0	78.0	89.8	93.1	96.3	
県西	93.2	88.5	91.1	96.8	95.0	96.5	
病床稼働率/急性期	平成27年度	平成28年	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	80.1	80.5	87.2	82.1	88.4	93.1	
横浜	82.3	82.3	89.2	84.0	88.7	93.4	
川崎北部	76.7	83.3	86.3	66.1	93.3	109.0	
川崎南部	84.2	88.3	90.1	87.3	91.2	96.1	
相模原	79.6	78.0	85.0	82.4	86.4	86.1	
横須賀・三浦	71.5	69.2	80.9	81.0	84.7	84.4	
湘南東部	83.7	85.2	91.4	85.1	94.9	97.3	
湘南西部	78.6	74.9	91.5	84.8	82.9	88.4	
県央	80.4	78.6	82.6	80.8	84.3	86.7	
県西	63.5	63.3	73.6	80.7	81.4	80.2	

医療提供の状況_④病床稼働率(回復期・慢性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

- ・病床稼働率は、回復期では上昇傾向
- ・慢性期では横ばい、又は平均在院日数の影響もあり地域によっては低下の状況

病床稼働率/回復期	平成27年度	平成28年	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	80.9	83.5	88.4	88.1	91.2	90.1	
横浜	87.4	84.9	91.0	90.7	92.3	92.8	
川崎北部	91.8	85.1	91.5	91.3	93.5	93.4	
川崎南部	89.0	86.7	93.5	87.0	90.7	92.6	
相模原	55.4	84.0	87.2	78.2	88.8	86.6	
横須賀・三浦	79.7	88.5	87.2	88.2	89.8	91.8	
湘南東部	80.2	91.8	90.3	87.1	105.2	83.8	
湘南西部	68.8	75.9	91.4	82.4	82.3	87.0	
県央	80.9	74.2	78.8	86.9	91.2	90.5	
県西	66.7	61.9	84.4	83.9	66.2	67.0	
病床稼働率/慢性期	平成27年度	平成28年	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	92.1	88.4	86.4	91.9	90.7	90.4	
横浜	87.9	89.5	88.6	96.5	93.1	93.1	
川崎北部	91.9	92.0	94.5	93.1	91.9	91.2	
川崎南部	92.7	86.4	93.3	94.4	89.7	90.5	
相模原	101.2	89.5	77.6	88.7	89.9	91.5	
横須賀・三浦	85.5	81.5	76.8	89.6	90.3	90.3	
湘南東部	92.6	86.0	91.5	83.3	93.1	80.0	
湘南西部	98.0	95.2	91.1	90.7	91.0	91.2	
県央	87.3	80.9	86.8	91.1	87.6	88.5	
県西	90.9	88.2	87.7	89.8	82.3	87.7	

医療提供の状況_⑤病床利用率(高度急性期・急性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

・病床稼働率は、高度急性期・急性期ともに上昇の傾向であり満床に近い状況

病床利用率/高度急性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	85.0	84.6	88.4	82.0	86.4	87.8	
横浜	82.8	84.3	87.8	81.5	86.9	85.3	
川崎北部	85.9	83.4	86.0	30.5	76.3	84.3	
川崎南部	73.2	74.5	70.2	73.0	77.7	78.0	
相模原	78.3	86.2	89.5	80.9	80.4	85.5	
横須賀・三浦	95.0	92.3	91.8	85.2	91.5	96.0	
湘南東部	80.0	80.8	82.0	85.2	79.3	84.1	
湘南西部	91.9	79.8	98.5	89.7	92.6	93.4	
県央	58.5	68.6	60.3	75.2	77.3	84.4	
県西	83.8	79.3	79.5	86.5	84.7	85.9	
病床利用率/急性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	73.6	73.7	79.8	74.8	80.8	85.2	
横浜	75.5	75.3	81.5	75.9	80.7	85.5	
川崎北部	70.7	76.5	79.6	59.8	84.8	100.0	
川崎南部	77.3	80.9	81.9	79.5	83.5	87.7	
相模原	73.3	71.0	77.7	75.1	79.1	78.1	
横須賀・三浦	65.6	63.6	74.4	74.0	78.1	76.8	
湘南東部	76.8	78.2	83.9	74.0	87.1	89.0	
湘南西部	72.5	68.1	84.4	78.9	76.4	81.5	
県央	73.9	72.0	75.9	73.9	77.3	79.0	
県西	57.9	58.1	67.5	75.7	76.1	74.7	

医療提供の状況__⑥病床利用率(回復期・慢性期)

※2025年は速報値(回答率92.1%)。2026年見込みは2025年度報告時点の報告

- ・病床稼働率は、回復期では上昇傾向
- ・慢性期では低下の状況であり空床がめだつ病院も一部あり

病床利用率/回復期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	79.1	81.6	86.2	86.0	89.0	88.0	
横浜	85.4	83.1	88.9	88.5	90.2	90.6	
川崎北部	90.6	83.7	89.5	89.2	91.5	91.2	
川崎南部	87.3	85.0	91.0	82.8	86.8	89.4	
相模原	54.0	81.2	84.5	75.5	86.2	84.3	
横須賀・三浦	77.3	86.6	84.1	85.7	87.2	89.6	
湘南東部	78.1	89.9	88.5	85.7	103.2	81.8	
湘南西部	67.6	74.4	89.1	80.8	80.4	85.6	
県央	79.1	72.2	77.1	85.6	89.6	88.9	
県西	64.7	60.1	82.4	82.6	64.1	65.0	
病床利用率/慢性期	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(速報)	経年推移
全体	91.7	87.9	85.9	91.3	90.1	89.8	
横浜	87.3	88.7	88.0	95.9	92.4	92.4	
川崎北部	91.6	91.7	94.2	92.6	91.4	90.3	
川崎南部	92.2	85.6	92.6	93.6	88.9	89.7	
相模原	100.9	89.1	77.2	88.3	89.5	91.2	
横須賀・三浦	84.9	80.8	76.3	88.9	89.6	89.7	
湘南東部	92.1	85.5	91.0	88.9	92.4	79.4	
湘南西部	97.7	94.9	90.7	90.3	90.5	90.7	
県央	86.6	80.4	86.3	90.6	87.0	87.9	
県西	90.5	87.9	87.4	89.4	81.9	87.3	